

## 令和二年神奈川県議会本会議第1回臨時会 文教常任委員会

令和2年4月24日

鈴木委員

私は簡単に二点伺います。3ページの2にある、Wi-Fi環境が整っていない家庭に対する無線環境の提供をすることについて不思議に思いましたが、Wi-Fi環境が整っていないということは、Wi-Fiルーターの提供だけでは不十分で、プロバイダーと回線も必要なわけです。この費用までも予算に全部含まれているのでしょうか。

高校教育課長

今回、モバイルルーターを貸し出せるような形にしますが、それは通信料も含めて負担する形になっています。

鈴木委員

それは回線をつなげるだけではなく、プロバイダーをきちんと選ばなければいけないのでですが、プロバイダーもルーターと同時にについてくるのでしょうか。

高校教育課長

そのような形での契約をして使用することになります。

鈴木委員

そこまで行う企業がありますか。楽天などで、1年間無料でルーターを貸すところは聞いたことがあります、プロバイダーから回線まで、全部含めてということは聞いたことがありません。そのようなことがあれば教えてもらいたいです。しっかり調べておかないと、とんでもない費用がかかってしまいます。環境の整っていない方に経済的な負担をかけるというのは、絶対あってはならないので、確認をお願いしたいと思います。

二つ目は、Wi-Fi環境が整っていないなどのいろいろな理由により、オンライン教育は全然進んでいないわけです。毎回、文教常任委員会を通してずっと言ってきましたが、オンライン化は時代の要請なわけです。ですから、しっかりと進めていかなければいけない中で、課長や部長は、実際にテレビ会議を行ったことはあるのでしょうか。

高校教育課長

テレビ会議に参加したことはあります。

鈴木委員

会議とは、自分が話し、相手の話に自分も答えてやり取りができるものです。ところが、何人の方が参加するような、例えば、テレビ会議やオンライン会議を行う際に、自分のところに話が来なければ、ほかの人がだらだら話していくように感じられ、飽きてしまいます。しっかりした覚悟で行わないと、画面を見ているのもつらくなります。あるところで私も経験させてもらいましたが、実際行った方は皆経験されているはずです。

ですから、オンラインの教育環境を整えるならば、教師の方々に対する意識改革を行うことが必要です。例えば、だらだらと書いていたり、無表情で話したりするだけであれば、10分も聞いていれば絶対に飽きてきてしまいます。塾などで行っているオンライン授業は、身振り手振りや話し方がオンラインによ

く慣れていらっしゃいます。実際にオンライン教育を目指す県として、教える側の姿勢について、意見があれば伺います。

高校教育課長

今まで、オンラインの授業自体を行うことについて、教員が研修をする機会は、あまりなかったというのが現状です。

今、委員おっしゃるとおり、40分、50分という時間の授業をずっとオンラインで行うと、なかなか難しい部分も出てくるものですので、まず当座目指していきたいのは、10分程度の授業動画をつくり、その中で、基礎的なこと、基本的なことを生徒に伝えていき、その知識を基にして、それを活用しながら課題に取り組んでいくというオンラインでの動画授業と、それから課題学習を並列していくような形でスタートしたいと考えています。

鈴木委員

これから、未知のことに向かっていくわけですから、よりいいものをつくっていただきたいです。ただ、最後に意見を申し上げたいのは、よく考えていただきたいこととして、オンラインで今までの教育よりもいい環境にしなくてはいけないということです。そのためには、例えば、少數の方々で分けて行ったり、分からぬ課題に対して具体的に質問が出てきたりなどというような、一人一人の需要に応じ、またそれをレビューできるような環境においてオンラインには優れたものがありますので、今までの教育の一方的な環境よりも、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況で、教育界も大きく変わっていき、また、世界にどんどん近づいていくような対応をお願いしたいと思います。